



名寄市立大学の窓から

知への誘い

vol.91

名寄市立大学の保健師教育について

保健福祉学部 看護学科

講師 作並 亜紀子



私は、公衆衛生看護学を担当し、保健師養成に携わっています。

保健師は、地域で生活するすべての人々を対象に活動します。保健師の活動の中には、直接地域に向く家庭訪問などがあります。そのため、本学の保健師教育では講義の一環として、地域で行われる活動を通して学習を実施しています。

地域で行われる活動を通して学習では、市内5つの町内会の協力を得て実施しています。この活動は、学生が3年生のときに行っており、健康な人が1年間を通して、健康づくりに取り組み姿や生活上での工夫、住民同士の交流の楽しみ、地域の特徴などを幅広く学習しています。このことにより、健康な地域づくりを目指す保健師の基本姿勢について学んでいます。地



域の方々には、保健師教育に関わる学習へのご協力に感謝しております。
4年生になると、上川北部や宗谷管内の保健所、市町村で実習を行います。実習先にいる保健師の指導のもとに、健康相談や家庭訪問、町内会活動に取り組む方々へのインタビュー訪問などを実施しています。学生は、3年生で見聞できた実績をもとに、さらに視野を広げて学んでいます。保健師活動の展開に必要なことを、直接地域住民から聞いて学ぶなど、積極的に保健師の活動を深化させていきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、保健師教育に関わる内容を、今後の状況にもよりますが一部変更する予定としています。4年生については昨年度、直接地域に向いて学習していますので、実習内容が例年のものと変更されても、積み重なっている基礎があり、就職後の保健師活動につながると思っています。3年生は、平常通りの学習ができるようになったときに、再び地域の方々の協力を得て、学習に取り組めるよう準備を進めています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、保健師教育に関わる内容を、今後の状況にもよりますが一部変更する予定としています。4年生については昨年度、直接地域に向いて学習していますので、実習内容が例年のものと変更されても、積み重なっている基礎があり、就職後の保健師活動につながると思っています。3年生は、平常通りの学習ができるようになったときに、再び地域の方々の協力を得て、学習に取り組めるよう準備を進めています。



今後学習の一環として市民の皆さまのご理解ご協力をいただきながら、保健師養成に取り組んでいきますので、よろしくお願います。

大学図書館へようこそ！

大学では一部の授業が教室で行われるようになりましたが、多くはインターネットを利用して講義を配信したり、会議システムでやり取りしたりと、さまざまな工夫をしながら授業を進めています。

【7月以降の利用について】

現在、学外の方の利用ができますが、次の点にご注意ください。

- マスク着用 ○手指消毒を徹底してください。
- 連絡先・入退館時刻を明記してください。
- 利用する図書は電話やメールでご予約ください。
- 閲覧席は利用できません。 ○利用時間：9:00~18:50

◆問い合わせ
名寄市立大学図書館

☎01654@7671(直通)
✉ncu_library@nayoro.ac.jp

大学図書館にはこんな本があります ～「知」への誘い～からもう1歩～

保健師に関する図書を紹介します。

『保健師ものがたり』

大阪府保健所の保健師活動を語り継ぐ会/編 せせらぎ出版

→16人の保健師・元保健師が語る保健師という仕事の原点。

『コミュニティヘルスのある社会へ』 秋山美紀/編 岩波書店

→コミュニティヘルスとは何か、その活動を支える保健師などの実践を紹介し、地域づくりのあるべき姿を問う本です。

『無名の語り 保健師が「家族」に出会う12の物語』

宮本ふみ/著 医学書院

→ごみ屋敷・ネグレクトなど病んだ家族と、苦悩しながら援助し続けた保健師のリアルな姿が描かれています。

